

生活創造空間 にし NISHI

～アンラシネを目指します～

第 52 号 2022 年 4 月 20 日発行

第 52 号は『生活創造空間にし』で、コロナ禍中でもなんとか歩みを止めずに続けることができた取り組みについて、遅ればせながら、ご報告させていただきます。



ランチタイムコンサート



にぎわい&にしよこ寄席



にし研修年度報告



オンライン交流会&シャララカフェ

“だれもが音楽を楽しめる空間”として、生活創造空間にしランチタイムコンサートが開始してから早 13 年…ご出演されている方々には末永くお付き合いさせて頂いている方、最近知り合った方、電車からピアノを見かけふと訪れてくれた方、再び当所に足を運んでくれるようになった方、写真掲載した方以外にも十人十色の出会いから、様々な音色を当所で奏でてくれています。

コロナ禍となってすぐに中止となったコンサートも、3 ヶ月ほどの中止期間を設け、感染予防対策を留意した形で『緊急事態宣言』が出ない限りは、“音楽のある生活”を創り続けようと、歩みを止めないよう慎重に取り組んでいます。

尚、コンサートのお知らせは月に一回、当所の掲示物、HP、また地域各所に配布しております。ぜひ、聴きにいらしてくださいね。(古田中)



佐野 仁哉



リトルキヨシ



カテリーナ



元井 美智子

にぎわい&にしよこ寄席 其の十八



きんげんてい うまた ろう
金原亭 馬太郎

とうげつあん
桃月庵 こはく

新型コロナウイルスの影響で、開催が危ぶまれるか、という心配もありましたが、噺家のお二人、にぎわい座の方々、ご来場の皆様に感染予防対策にご協力いただき、無事に開催することができました。今回ご出演いただいたのは、『桃月庵 こはく』さん、『金原亭 馬太郎』さん。

全二十席準備していた客席は概ね満員となり、皆さんの笑い声で『生活創造空間にし』に明るい笑いが溢れました。先の見えないコロナ禍でも、感染予防をしつつ「皆で笑いあえる場所は必要だなあ」と実感しました。

今後もしよこ寄席として地域の方に幸せな時間を届けられるよう、この会を長く継続していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

最後に、令和 4 年 4 月で『横浜にぎわい座』は 20 周年とのこと。おめでとうございます。

ともしび亭かふえおれ



2021年度にし研修 年度報告

2021年度の生活創造空間にし研修は、全5回開催。年間のテーマを『障害のある方の「住まい・暮らし」の実態を知る・考える』とし、主に障害当事者ご本人にご登壇いただいた上で、その暮らしを動画やインタビューを通じ、ご紹介しました。ご参加いただいた方は全5回で**239名**。ご参加いただきました方々、ありがとうございました。

そもそも今回のテーマを『障害のある方の「住まい・暮らし」の実態を知る・考える』としたのは、サービスが足りない、もしくはあったとしても、実際に機能していない実態があるのではないかと、また利用対象者がサービスや機能、その実態を知らず、選べる環境にないのではないかと、更には、本来多様な暮らしの選択肢がいわゆる公的サービスでのみイメージされていないか、といった課題を感じていた為です。その為、実際にグループホームで暮らす方、入所施設で暮らす方、特例子会社でお勤めの方、ヘルパー等の公的資源はもちろん、地域の見守りやサークル活動等の私的な資源の組み合わせで一人暮らしをしている方などにご登壇いただき、それぞれの多様な暮らしの実態を、知っていただく機会としました。

（自戒を込めつつ）とりわけ、私（支援者と呼ばれる人）は、障害当事者の暮らしを公的サービスと家族支援でのみイメージしてしまうことが多いように感じています。特に、それはいわゆる言語での意思表示が困難な方であればあるほど、障害の程度が重度であればあるほど、その傾向が顕著ではないでしょうか。支援者と呼ばれる私たちが障害者のスケジュールは、公的サービスと家族支援のみを前提とするかのような調整、また障害当事者の暮らしやつながりを全て把握しなければならない、もしくは全て知っているといった感覚…極端かもしれませんが、そうした側面があるのではと感じています。知らない関係性がある当たり前…公的な顔と私的な顔がある当たり前…支援者自身が、知らないことがあるという当たり前を認識すること、またあえて知らないという姿勢でいること。そのためにも、まずはその実態を『知る』ことが肝要ではと、この研修テーマにしたわけです。

2022年度の生活創造空間にし研修も、引き続き、障害当事者の生の声をお届けすること、生の暮らしを知っていただくことを第一に、オンラインと会場参加のハイブリッド式で実施いたします。初回は**7月1日(金)**を予定しておりまして、詳細決まり次第、ご案内いたします。

2022年度もどうぞよろしくお願いいたします。

ねくさす 基幹相談員
森 博宣

シャララカフェに掲示しています！

コロナ禍だってつながれる！！ ～平沼小とのオンライン交流会編～

きっかけは、昨年11月の西公会堂での出会い。
平沼小の石川先生と「今度何か一緒にできることがあれば・・・」という立ち話が事の始まり。

まずは平沼に出来た『生活介護事業所&COCO』とのオンライン交流会。続いて『生活創造空間にし』とのオンライン交流会を開催！！

交流会では『シャララカフェ』の紹介と『ランチタイムコンサート』でもお世話になっている、海の上のピアニスト・佐野仁哉さんからピアノのサプライズ演奏も。

そして、カフェのスタッフの皆さんもお店の宣伝に大張り切りでした！

交流会は、名残惜しくもここで終了...しかし、これで終わりじゃなかった！

翌日、生徒数名が『シャララカフェ』に！！ご家族連れで来店された方もいらっしゃいました。さらに、写真にもあるように生徒の皆さんから、お礼のコメントまでいただきました。

オンラインも気軽にいいけど、落ち着いたら是非、直接見学してもらえるといいですね。
やはり実際に目で見ることで、子どもたちの心が動くんじゃないかなって。
こういった体験の一つ一つが、誰もが住みやすい地域を創っていく一歩なんじゃないかなと。
打ち上げ花火のように単発で終わるのではなく、ずっと継続していくことを望んでいます。

生活創造空間にし 館長 阿部 浩之

『シャララカフェ』も、コロナ禍中、日常に近づけるように営業を続けておりました。
これからも、シャララなカフェで ゆったり まったり のんびりして いきませんか？

カフェ・レストラン

シャララカフェ
Shalala Cafe

火～土曜（祝日休み）
11:00～16:30

沢山の電車を間近で見れる
シャララカフェの特徴を
モチーフに、電車のおにぎりとお子様に大人気なハンバーグ、
デザートには当店“自慢”の
プチパンケーキのプレートです。
ミニサイズのドリンクも付いて

¥390 です！！

🚗 当店おススメメニューの紹介 🚗

『キッズプレート』



生活 創造空間 にし から お知らせです。

新型コロナウイルスの感染拡大の状況に合わせて、中止・延期等の可能性等もございます。
ご協力の程、よろしくお願い致します(下記内容も同様です)。

おもちゃ文庫

貸

館

上記二つの事業については、通常利用とは異なりますが、引き続きご利用できます。
お問合せ、ご予約お待ちしております。



は、5月13日(金)に

たんご せつく
端午の節供

を開催予定です。

『みんなの節供』もコロナ禍中も、継続してきた事業のひとつです。
コンサートの後に食事を伴うイベントではなく、お土産をお持ち帰り
して頂くスタイルに変更して実施おります。(今回はさらい工房とのコラボ)→
何卒、ご了承下さいますようお願い申し上げます。



さらい工房の節供特製弁当と自主製品ガチャ

『もへじ』の少し“しあわせ”を感じた話

皆さん新年度を迎えましたが、いかがお過ごしでしょうか。
出会いや別れ、お仕事や生活環境の変化など1年で一番慌ただしい1ヶ月かも
しれませんね。私自身もお仕事の方で色々と変化があり、なかなか目まぐるし
く毎日が流れていっております。

そんなある日、前日の疲れを引きずりながら、今日も忙しいんだろうな〜と
通勤電車で揺られておりました。…そんな時！半分しか
開いてない私の目にある広告が飛び込んできました！

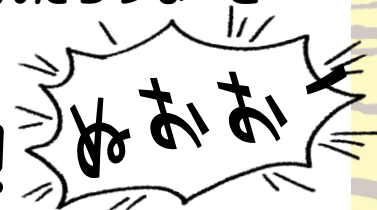
29年ぶりの連載復活「ゴリラーマン40」！！！！

これは私が中学生の頃ドハマりし、友人間で一大ブームを巻き起こした
ハロルド作石さん作の伝説の漫画「ゴリラーマン」の復活ではないですか。
心が躍りました。そして、当時とは違いますが電子書籍ですぐ購入しました。

そして、一人で電車の中でクスクス笑ってました。

“しあわせ”でしたー。早く2巻が出て欲しいです。

さあ今日も頑張るぞ！ 少し“しあわせ”を感じた話でした。



生活創造空間にし URL: <http://www.souzoukuukannishi.org>

【発行・印刷】生活 創造 空間 にし広報委員会 〒220-0055 横浜市西区浜松町 14-40

☎ 045-250-6506 (ガッツ・ビーと西) ☎ 045-250-6470 (エヌ・クラブ)

